

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

数学 蓮田市立黒浜西中学校

実施日 指導案検討 令和7年9月4日（木）
授業研究会 令和7年12月9日（火）
訪問者 指導主事 竹内 桂太

指導案検討会

● 単元名

平面図形（第1学年）

● 本時の目標

- ・「麻の葉」の模様に関心をもち、操作的な活動に積極的に取り組もうとしている。
《学びに向かう力、人間性等》
- ・しきつめ模様について自分の考えを説明することができる。
《思考力、判断力、表現力等》

《授業者の思い・意図》

- ・図形についての感覚を豊かにしたい！
- ・図形についての直感的な見方・考え方を養いたい！
- ・論理的に考察し表現する能力や態度を育成したい！

→操作活動の工夫、対話の充実

■ 参会者の声

- ・市内の先生方と協議できる貴重な機会となった。今後に生かしていくたい。
(指導案検討会：中学校教諭)
- ・小中の教員が交流し、協議できる機会は貴重なので、もっと多くの人数で実施できるとよいと感じた。特に小学校籍の人々が多く参加していただきたい。
(指導案検討会：小学校教諭)
- ・指導案検討会を踏まえて改善された授業を拝見し、それについて協議することでより良い授業づくりのための新たな視点を得ることができた。
(授業研究会：中学校教諭)

授業デザイン改善のPOINT

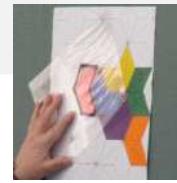
■ 学習過程（構成）の変更

初心者マークに似た図形の移動から、「ずらす」「回す」「裏返す」といった動的な気付きを基に、「自分で決めた図形」でも移動できるかについて説明する活動を取り入れた。また、内容を詰め込んでいた部分を精査し、削除した。



■ ワークシートの変更

学習の足跡や友達の考えなどを構造的に捉えられるようにワークシートを工夫した。



■ 対話場面の工夫

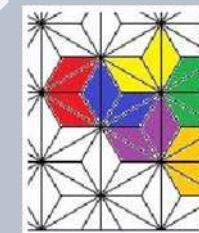
透明なシートを動かして説明する活動により、「対称の中心」への気づきや図形を「裏返すこと」への理解につなげ、生徒の自由な表現による対話となるよう工夫をした。

授業研究会

● 生徒の変容や今後の課題

○操作活動によって、「ずらす」「回す」「裏返す」といった気付きを生徒の言葉で表現でき、図形の移動への感覚づくりを豊かにすることができた。

▲指導案では、ICTを活用し「しきつめ模様」をつくる活動を設定していたが時間の関係で当日削除した。本時のねらいに迫り中心となる活動等を見極めて、授業づくりをすることが課題である。



■ 授業者の声

【取組への感想】

子供たちが、生き生きとした表情で、集中して学習に取り組んでいた。教材・教具を工夫することで生徒のやる気や興味・関心を引き出せることができると改めて感じた。今回の授業内で出てきた、生徒たちのつぶやきを大切にし、今後の授業につなげていきたい。
【2回の取組を通して学んだこと】

指導案と一緒に検討していただいた先生方に授業を見ていただくことで、より良い授業にするために、多くの先生方に御協力いただいているということを実感することができた。また、指導案検討会があったからこそ、授業後の研究協議がより活発にされていたと感じた。様々な御意見や改善案をいただき、とても実りある時間となった。